

国内IRO MRT-T日本2026

開催案内

開催地 長野県富士見町 RDTA八ヶ岳救助犬訓練センター

開催期間 2026年11月12日～15日

全般情報

国内IRO MRT-Tは現行有効「国内IRO MRT瓦礫捜索ガイドライン」に則って開催されます。
各受験者は、疑似遭難者として起用されるヘルパー一名を伴うことが条件となります。
MRT開催期間中の飲食料は受験者自ら事前調達、持参する必要があります。
ヘルパーの飲食料などは主催者によって提供されます。

開催実行関連情報

開催期間

開始日時 2026年11月12日 / 午前 09:00

終了日時 2026年11月15日 / 午後 19:30

RDC

<https://maps.app.goo.gl/ToJxgZAPsUgNa4ESA>

GPS座標

35°53'57.5"N138°15'51.1"E

35.9049084271586,

138.25978947719236

IRO評価員

Dusan WEBER (Senior)

Rolf HÄUSERMANN

Magdalena KOZCERA

IRO国内評価員

SAKAMOTO Sachiko (JP)

MIZOBE Hideko (JP)

FUJINO Aya (JP)

MURASE Shimpei (JP)

CHUNG Chin-Lung (TW)。

LEE Hsin-Hung (TW)

CHEN Meng-Hung (TW)

LEE Wei-Shuo (TW)

Wu Wei-Yi (TW)

Liu Yen-Huang (TW)

申込方法及び申込締切

下記のGoogleフォームから 2026年10月15日迄にお申し込み下さい。

また、受験者数の上限があります。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScfaVnUFoTx5hTWaV_DWMaGwMYFjHLfBrCq8YqXaGTP4Lt4Dg/viewform?usp=Header

評価法及び試験内容

評価対象

- ア) 国内IRO MRT-T開催期間中、検索内容並びに受験チームの技量が評価されます。
- イ) 各検索サイトに於いて評価員が下した評価に対する異議申し立ては認められません。

設定試験課目

- 日中又は夜間に実施される20分間に及ぶ検索を5回実行する必要があります
- 検索作業以外に下記副科目が実施されます
 - ① 犬の救急救命処置
 - ② 国内出動知識、INSARAGガイドラインなど

犬の救急救命処置

受験者毎に1～2個の課題が出題されます。シナリオに関連付けされた状態で何時でも出題される可能性があります。課題は下記から選定されます。

- 事故防止処置
- 救急キット
- 負傷/症状の認識
- 正常バイタル値
- 低体温症/熱中症症状
- 保定/固定法
- 包帯法
- ショック状態対処法
- 止血法
- 移送及び観察法

INSARAGマーキング及び警報システムと通信

- 国際INSARAGマーキング及び警報システムと通信

※ INSARAGガイドラインの持ち込み使用は認められる。現行有効版はINSARAG HPより入手可能 <https://www.insarag.org/methodology/insarag-guidelines/>

受験条件

- IPO-R 瓦礫B段階試験 / 他団体の場合、出動基準の合格など
- 国際基準に準じた、取得して5年以内の救急救命処置資格証明
- IRO予防接種基準に則った各種予防接種証明（IROワクチンフォーム必須）
- 受験者及びヘルパーのIRO一般取引規約適応の承諾
- 各受験者はヘルパー（疑似遭難者役）を1人提供する必要があります

RDC／受付登録

住所: 長野県諏訪郡富士見町落合6729

GPS座標: N 35°53'57.5" / E 138°15'51.1"

受付・登録実施期間: 2026年11月12日 / 午前 09:00

RDC担当要員氏名: 村瀬 真平 (実行副委員長)

RDC担当要員電話番号: 090-3345-5881

国内IRO MRT-Tは受験者による到着とRDCにおける受付・登録からスタートします。

以下の点に注意して下さい。

- 受験者及びヘルパーによるRDCへの進出は受験者責任のもと行われます。
- 指導手の有効な身分証明書（パスポート（最低6ヶ月間有効） / 運転免許証など）と、IROワクチンフォーム（予防接種証明書）をRDCにおいて提示する必要があります。
- 更にIPO-R RH T B合格証明、またはそれに準じた資格を提示して下さい。
- RDCにおいて装備品検査が実施されます（PPE、飲食料等）
- 完全な個人安全装備品（PPE）、十分な飲食料、有効な身分証明書、IROワクチンフォーム（予防接種証明書）を有する指導手のみBoOへの移動が認められ、国内IRO MRT-Tを受験する事が認められます。
- RDCにおける受付・登録及び装備品検査実施後、RDCよりBoOへ案内されます。

獣医チェック

- IRO MRT-T受験犬はIROワクチンフォーム（予防接種証明書）を証明することが必須です。
- IROワクチンフォーム（予防接種証明書）を証明可能な犬のみ国内IRO MRT-T受験が認められ、RDCにて実施される獣医チェック時に不備が確認された救助犬チームの受験出来ません。
- MRT開始時に犬の健康状態が診断されます。また、負傷等が生じた場合、評価員要望に応じ、いつでも再診察を要求できます。
- 獣医師は、MRT-T開催期間中常に常在している。

個人装備品確認（IRO MRT-Tガイドライン、「付録B」に基づく）

指導手

- ヘルメット EN443又は同等の安全規格品
- 安全靴 安全規格クラス S3 相当品（爪先保護キャップ、貫通防止付き）
- 手袋 瓦礫搜索とローピング作業適正品
- 防護服 気象条件に適した長袖服、EN 471/2, EN ISO 20471規格に準じ高視界性の着用が推奨
- 肘及び膝当て/ゴーグル、携帯型ライト

個人装備品（PE）

- 指導手／犬証明書入れ（防水）
- 防寒・防水上着やズボン（指導手用）
- 防寒・防水ジャケット（犬用）
- 救急キット（犬、指導手用）
- GPS又はコンパス、地図作成用具
- 笛
- 飲料水（最低2リットル、犬／指導手用）
- 防寒/冷却コート（犬用、気象条件に応じ）
- ノート、鉛筆、ボールペン
- USAR/INSARAG関連資料
- 寝袋（指導手／犬）
- 懐中電灯（予備電池）
- 24時間分の食料（指導手用）
- ドッグフードや汚物袋（犬用）
- 救助犬靴
- 作業用ハーネス、識別ハーネス
- リード
- 口輪

BoO（活動拠点）

- 受験者用BoO はRDC隣接地に設定される。
- 受験者はBoO滞在中に必要な全物資を自ら持参しなければならない。
- BoO滞在中の飲食料についても受験者自ら事前調達する必要がある。
- 安全確保の為外灯照明による灯り、水及びトイレはBoOにて提供される。
- BoO内への発電機持ち込みは認められる。
- 受験者用駐車場はBoO隣接地点に設定されているが、MRT-T開催期間中の自転車へのアクセスは原則禁止とされ、シニア評価員の許可を必要とする。

ヘルパー

- ヘルパー用飲食は提供されます。
- 休息場所が提供されます。
- 宿泊はご自身でご用意頂くか、運営提供かを選択できます。
- ヘルパー装備品（例：敷きマット、寝袋、笛等）はヘルパー自ら持参する必要があります。

その他

- 各参加者は、自身の責任において一般賠償責任保険、事故保険、及び犬の賠償責任保険に加入する必要があります。
- 各参加者は、自分自身またはヘルパーの到着と出発に責任を負います。
- 詳細については、info@rdta.or.jp までお気軽にお問い合わせください

受験料

受験料は45,000円とする。